

# 安神ふるさとづくり計画書

～<sup>あんしん</sup>安神して住み続けられるふるさとづくり～



平成27年9月作成

# 目 次

1. 地域づくり計画をつくる目的	2
2. 計画の役割と目指すもの	3
3. 地域の沿革	4
4. 地域の伝統行事	5
5. 地区の資源	6
6. 地域の課題	9
7. 地区の方向性と目標	10
8. 取り組みの一覧	12



安神海水浴場から望む竜ノ崎

# 1. 地域づくり計画をつくる目的

厳原町<sup>あがみ</sup>安神地区は、自分たちの住む地域が抱える課題を、自分たちで知恵を出し合って解決し、自分たちの理想とする地区の姿を実現する地域づくりを効率的に進めるための指針として、地域づくり計画を策定します。

近年、少子高齢化や地方分権など、我々を取り巻く社会情勢は急速に変化してきています。これに伴い、住民一人ひとりが抱えるさまざまな課題に、これまでのように行政が提供してきた公平で画一的な公共サービスでは対応できなくなってきており、これからの、安心して安全な社会生活を送るためには、地域に根ざした地域コミュニティ（地域団体や住民）の力が、必要不可欠な時代となってきました。

こうした背景をふまえ、よりよい安神地区をつくるため、地域づくり計画を策定するものです。



区民の手で公民館スロープ前舗装

## 2. 計画の役割と目指すもの

この地域づくり計画は、地域が抱えるさまざまな生活課題を解決するために、誰が、何を、どのように進めていくかを示すものです。

また、地域づくり計画は地域でできることは地域で、あるいは行政や周りの地域と助け合いながら、自分たちの意思と責任において地域の運営ができる自立した安心地区を目指します。

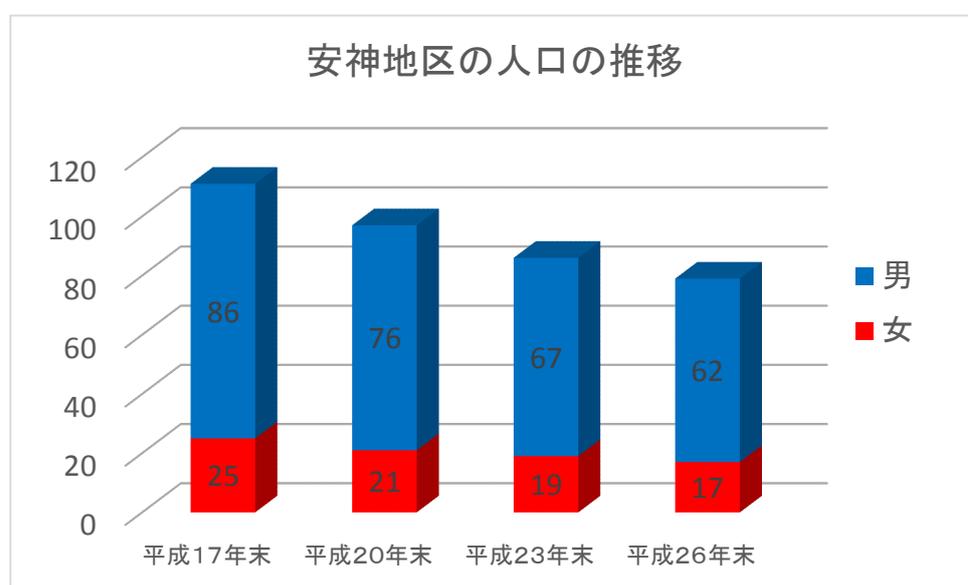


区民の手で砂防ダム作業道整備

### 3. 地域の沿革

巖原町安神地区は、巖原町の中心地から約12キロ南下した東海岸に位置する中山間ののどかな漁村地区です。人口は、58世帯72人（平成27年3月末）ですが、約半数は、海上自衛隊下対馬警備所の自衛隊員です。集落の主な産業は漁業であり、農業は、主に自給のための畑があります。

また、地区内には、島内でも重要な施設であります対馬クリーンセンター、海上自衛隊下対馬警備所があります。



## 4. 地域の伝統行事

### 嶽の神祭り・木根神社大祭

祭日は旧暦の11月16日で隔年で行われます。前日、巖原から来た神職が木根神社で祝詞（のりと）をあげます。祭事に直接関係する者は7名です。当日の朝、海に出てみそぎをします。それ以前に、祭事奉仕



者は3度の籤（くじ）で決めます。年齢、家柄に関係なく籤の順で早いほうから上位となります。7名の者は、鹿の革の羽織と裁着袴（たっつけばかま）とを着用します。神官と3名のみが山頂に行きます。山は木根神社の山です。御幣（ごへい）と赤飯と御供米（おくま）、酒を持っていき、山頂で神主が神饌を献じ祝詞をあげてから上席より順次酒を飲み、赤飯を食べます。4人は中腹で、とがずに米1升、水1升でご飯を炊き、鰯（ぶり）を串刺しにして待ちます。醤油も塩も持参しません。山頂の者は祭事を終えて中腹に下ってきます。山頂の者は赤飯と酒を残しておきます。中腹の者は鰯とご飯で饗（しょく）します。それから神職と7名とは下ってくると、川原に男子だけが集まっています、用意していた鍋で煮たものと酒で共食します。ここで嶽の神祭りは終了です。

また、木根神社大祭が毎年同日に開催されています。

## 5. 地区の資源

### 木根神社

対州神社誌（1686年）によると、「神躰并社無之。由緒不知。」とあります。大己貴（おおなむち）を祭神とし、「大己貴はスサノオの御子なり。上古スサノオ、御子五十猛（いたける）、大己貴を率い韓地に渡り給いしとき、この地に立ち寄り給いし古跡なればその霊を祭り産土神（うぶすながみ）とす。古（いにしえ）は神籬（ひもろぎ）磐境（いわさか）の社なり」と伝えられています。



### 安神海水浴場

竜ノ崎と輪島の眺望がすばらしい安神海水浴場。波の静かな海水浴場で、海岸は砂でなく砂利の浜です。浜のそばにトイレとシャワーもあります。近年は旅行者がレンタカーで多く訪れる名所となっています。



## 平間稔翁顕徳之碑

旧巖原町議会議員として30年間ひたすら郷土を愛し、不屈の信念と情熱により対馬のために幾多の業績を遺された故 平間稔氏の業績を讃え、その精神を継承する人材の輩出を願って区民で建立した石碑。



## 対馬クリーンセンター

対馬市合併前に対馬総長村組合において平成15年に完成した一般廃棄物処理施設。対馬市全体の一般ゴミが搬入されており、対馬市民すべての生活環境向上に大きな役割を果たしています。



併設されている公園、テニスコート

## 竜ノ崎第2砲台跡

30cmカノン2門  
起工：昭和8年8月  
竣工：昭和11年3月

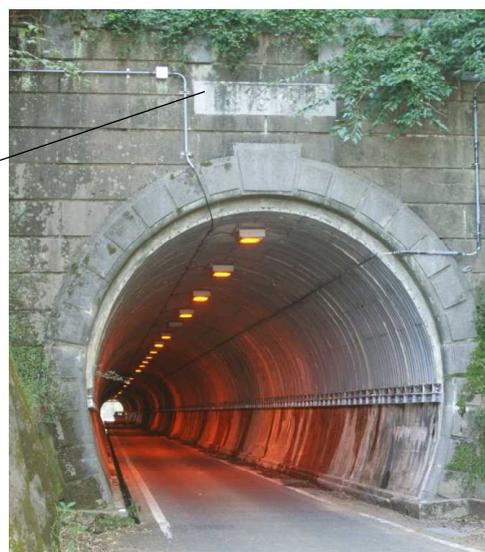
有効射程25キロ。目的は、  
壱岐の砲台※との挟撃による  
対馬海峡制海を目的に建設さ  
れました。



※ 黒崎砲台跡は、壱岐市猿岩隣にあります。対馬海峡を航行する艦船を攻撃する目的で設置されました。昭和3年8月から6年かけて完成。口径41cmのカノン砲二門の砲台で、砲身の長さ18.83m、弾丸の重さ1トン、最大射程距離35km、同じ規模の砲台が韓国プサンと対馬にあった。終戦後に解体されましたが、周辺施設は当時のままで、現在は跡のみが残っています。

## 安神隧道（1939年完成）

浅藻隧道（1938年完成）、久和隧道  
（1942年完成）などのトンネル群は  
日本の近代土木遺産となっています。



安神隧道（安神側）

## 6. 地域の課題

### 高齢化と人口の減少

対馬市全体の課題でもありますが、若者の流出と自然減による人口減少と高齢化が進んでいます。道路改良を機に人口減少に歯止めをしたい。そのためにも、高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくりが必要です。



安神公民館

### 医療機関への通院

医療機関への通院は、ほぼ自家用車ですが、高齢化により運転免許を維持することが困難となることも予想されます。近隣の地域と協力し合い、デマンドバス等の運行を検討する時期になっています。



### 道路交通

県道24号線巖原～豆敷線の道路は、軍事目的として陸軍が対馬に建設したものを拡充してきたもので、山中を通るとても狭い道路です。現在、対馬クリーンセンターには、全島から一般ゴミの持ち込みで連日大型車両が出入りしており、途中の離合も片側ずつ行う箇所も多数あり、たいへん危険な状況となっています。

## 7. 地区の方向性と目標

### 地域づくり目標

#### 『安神して住み続けられるふるさとづくり』

人口減少と高齢化は、安神地区だけでなく、対馬市全体の問題であり、安神地区だけで解決することではありません。その中で、安神地区としてできることは、住民が安心して暮らせる住環境を、地区内外の住民や行政、各種団体と協力してつくることであると考え、次のとおり基本方針と基本目標、具体的な施策を設定します。

#### 《基本方針 1》

##### 安全で安心、快適に暮らせる地域づくり

地区の環境が、安全、安心で、快適に暮らせることは、安神地区に住まう住民の共通する願いであります。そのためには定期的な地区内点検を実施し、行政と一体となって、事故や犯罪のない、災害のない地域を目指します。

#### 《基本方針 2》

##### 健やかで安らぎのある地域づくり

安心して住み続けるには、いつまでも健康で元気であることが不可欠です。健康診断や体力維持、公園整備などに取り組みます。

また、安らぎのある環境を目指して、伝統行事継承と史跡整備に取り組みます。

## 《基本方針 3》

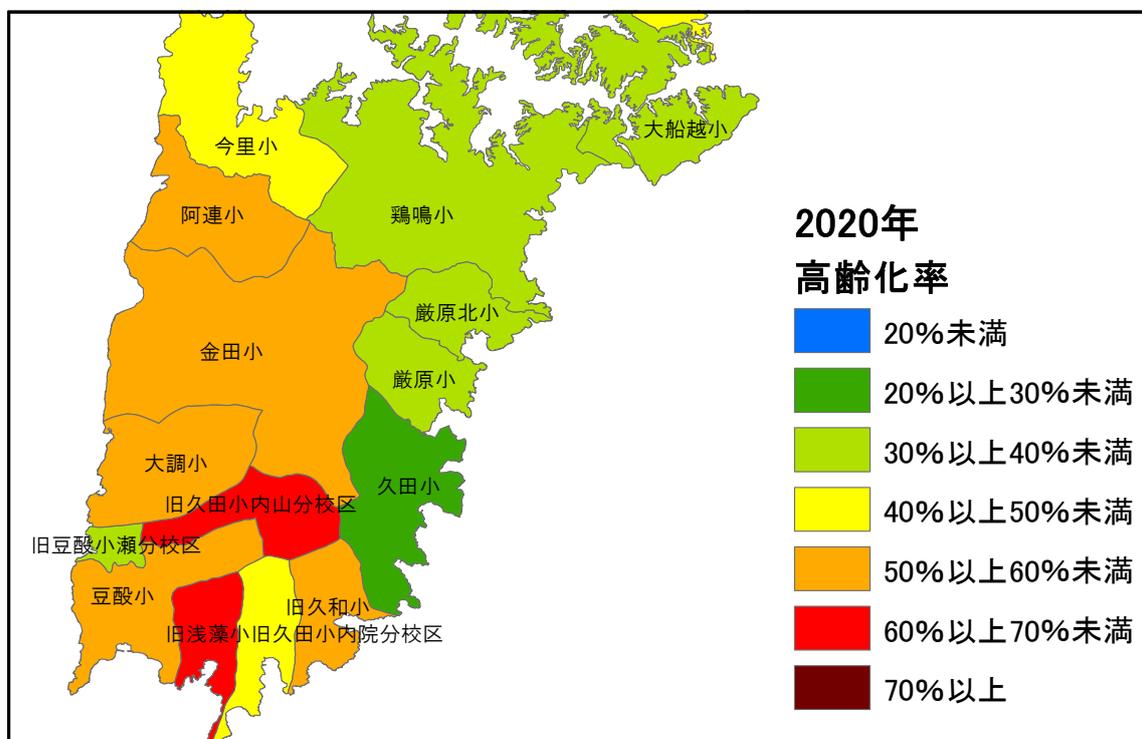
### 自然と調和した、人にやさしい地域づくり

安神地区は海・山・森に恵まれた自然豊かな土地です。百年後も自然と調和した地域を維持するために、各種団体や近隣地域との協働も視野に入れながら、地区内清掃やごみの不法投棄の防止及び監視を続けます。また、若い世代が安神に移住できる環境づくりも検討を始めます。

(参考)

右図は2020年の高齢化率を推測したものです。

安神地区のある久田小校区は高齢化率が低い予測となっています。トンネル開通後の安神地区は近隣地区との協働により充分持続可能な集落であると予測されます。



H25 対馬市全小学校区等将来人口推計より

## 8. 取り組みの一覧

取り組みの一覧		実施スケジュール					役割分担		
		■検討時期		◆実施時期			住民	行政	協働
		28年	30年	32年	34年	36年			
基本方針1	安全で安心、快適に暮らせる地域づくり								
基本目標1	みんなで助け合い支え合う地域								
1	地域見守り活動	■	◆	◆	◆	◆	○		◎
2	交通手段の確保	■	◆	◆	◆	◆		○	◎
基本目標2	事故や犯罪のない安全な地域								
1	定期的な地区内点検	■	◆	◆	◆	◆	◎		○
2	防犯灯の整備、増設	■	◆	◆	◆	◆		◎	
3	空き家対策	■	◆	◆	◆	◆		○	◎
4	事故や犯罪の起こりにくい環境の整備	■	◆	◆	◆	◆	◎		○
基本目標3	災害に備える地域								
1	居住地・防災マップの作成	■	◆	◆	◆	◆	○	○	◎
2	避難場所の点検・整備	■	◆	◆	◆	◆		○	◎
3	防火点検及び防災施設点検	■	◆	◆	◆	◆		◎	○
4	集落内の危険箇所の随時把握	■	◆	◆	◆	◆	◎	○	○
基本目標4	安全で利便性の高い交通環境が整った地域								
1	地区外と結ぶ道路・トンネル整備	■	◆	◆	◆	◆		◎	
2	交通困難箇所の把握と整備	■	◆	◆	◆	◆	○	○	◎
基本方針2	健やかで安らぎのある地域づくり								
基本目標1	健康で元気な地域								
1	健康診断の全住民受診活動	■	◆	◆	◆	◆	◎	○	
2	高齢者の食育・体力作り支援	■	◆	◆	◆	◆	○	○	◎
3	クリーンセンター公園等の整備	■	◆	◆	◆	◆	○		◎
基本目標2	伝統や文化遺産を大切にする地域								
1	伝統行事の継承(山の神大祭、嶽の神大祭)	◆	◆	◆	◆	◆	◎		○
2	地域の歴史、文化の掘出	■	◆	◆	◆	◆	○		◎
3	史跡の探索と整備	■	◆	◆	◆	◆		◎	○
4	平間稔翁顕徳之碑 周辺整備	■	◆	◆	◆	◆		◎	○
5	史跡案内板の設置	■	◆	◆	◆	◆			◎

取り組みの一覧		実施スケジュール					役割分担		
		■検討時期		◆実施時期			住民	行政	協働
		28年	30年	32年	34年	36年			
基本方針3	自然と調和した、人にやさしい地域づくり								
基本目標1	良好な住環境を実現する地域								
1	地域河川水路の点検・整備	■	◆	◆	◆	◆	○	◎	○
2	地区内道路の点検・整備	■	◆	◆	◆	◆	○	◎	○
3	協働による地区内清掃	■	◆	◆	◆	◆	◎		○
4	ごみの不法投棄の防止及び監視	■	◆	◆	◆	◆	○	○	◎
基本目標2	いきいきとした交流に賑わう地域								
1	地域間の文化・物流交流会	■	◆	◆	◆	◆			◎
2	協働事業への参加、推進	■	◆	◆	◆	◆			◎
3	来訪者向けの案内表示板の設置	■	◆	◆	◆	◆		○	◎
4	対馬クリーンセンターとの協働	■	◆	◆	◆	◆	○	○	◎
5	交流施設の活用(海水浴場、公園)	■	◆	◆	◆	◆	○	○	◎
基本目標3	笑顔で働く活力ある地域								
1	地域産直の計画	■	◆	◆	◆	◆	○		◎
2	先進地事例研修	■	◆	◆	◆	◆	○		◎
3	放棄地解消の作業支援	■	◆	◆	◆	◆	○		◎
4	グリーン・ブルーツーリズムの検討	■	◆	◆	◆	◆	○		◎